



平成23年11月4日

各位

上場会社名 日本化成株式会社
代表者 取締役社長 中村英輔
(コード番号 4007)
問合せ先責任者 経理部長 関 信哉
(TEL 03-5540-5861)

新中期経営計画「NKC-Plan2015」策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において2011年度を初年度とする5カ年の新中期経営計画「NKC-Plan2015」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。本計画は、当初今春に成案をご提示する予定でありましたが、震災の影響等を踏まえ、事業戦略の見直し・再構築を行い、本日策定に至ったものであります。

1. 前中期経営計画「NKC-Plan2010」の総括

【連結業績推移】

(単位：億円)

	2008年度 (実績)	2009年度 (実績)	2010年度 (実績)
売上高	487	383	391
営業利益	6.9	14.5	30.9
経常利益	8.4	12.3	30.1
当期純利益	3.5	6.6	▲9.6

2. 新中期経営計画「NKC-Plan2015」の概要

- (1) 計画の名称 NKC-Plan2015 (2011年～2015年)
- (2) 経営目標 高機能化による事業拡大と被災した小名浜工場の再構築
- ◇収益
 - ・経常利益 38億円
 - ◇環境
 - ・地球温室効果ガスの削減
エネルギー原単位：1990年度比20%削減
 - ◇安全
 - ・保安事故、労働災害ゼロ
 - ・GPS活動(リスクベースの化学物質管理)の推進
評価結果、管理方法の公表

(3) 年次別収益計画

①連結売上高・損益計画

(単位:億円)

	10年度 実績	11年度 計画	12年度 計画	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
売上高	391	375	394	413	429	445
営業利益	30.9	19.8	23.5	29.5	33.5	37.5
経常利益	30.1	20.6	24.0	30.0	34.0	38.0
純利益	▲9.6	10.6	11.6	15.3	17.7	20.1

②セグメント別売上高計画

(単位:億円)

		10年度 実績	11年度 計画	12年度 計画	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
単 独	無機化学品	187	158	158	165	173	178
	機能化学品・化成品	105	112	119	126	134	140
関係会社、その他		99	105	117	122	122	127
合計		391	375	394	413	429	445

③セグメント別経常損益計画

(単位:億円)

		10年度 実績	11年度 計画	12年度 計画	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
単 独	無機化学品	12.0	5.3	8.5	10.4	11.7	13.2
	機能化学品・化成品	13.7	12.8	11.0	15.7	19.3	21.8
関係会社、その他		4.4	2.5	4.5	3.9	3.0	3.0
合計		30.1	20.6	24.0	30.0	34.0	38.0

(4) セグメント別主要戦略 (2011年~2015年)

①無機化学品セグメント

- ◇合成石英粉事業の強化・拡大
 - ・最適生産体制の構築
 - ・光ファイバー市場への本格参入
- ◇アンモニア系事業の徹底した効率化と基盤強化
- ◇A d B l u e® (ディーゼル車脱硝用高品位尿素水) 事業の拡大

②機能化学品・化成品セグメント

- ◇T A I C®事業の拡大・強化
 - ・新規高機能グレード開発による拡販
 - ・新規用途開発
- ◇メタノール・ホルマリン事業の徹底した効率化と基盤強化
- ◇特殊機能化学品の用途開発と拡販
 - ・特殊感光剤
 - ・脂肪酸アマイド
 - ・アクリレート
- ◇E L 薬品事業の徹底した効率化

③未来材料

- ◇光関連材料の技術開発と市場開拓
 - ・高屈折率材料
 - ・低屈折率材料

(5) 小名浜工場の再構築

- ◇徹底した効率化・合理化
生産・物流等コスト削減
- ◇災害に強い工場の構築
地震・津波対策等
- ◇遊休土地の活用

(6) 設備投資計画

(単位：億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5ヵ年計
拡大・合理化	3.7	10.6	17.3	23.1	18.1	72.8
インフラ整備等	8.3	8.8	5.3	4.8	5.3	32.5
合計	12.0	19.4	22.6	27.9	23.4	105.3

拡大・合理化：新規設備設置、設備増強、省資源・省エネルギー化等

インフラ整備等：設備劣化更新、共通設備の設置・更新等

(7) 研究開発 (R D) 投資計画

(単位：億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5ヵ年計
無機化学品	1.1	1.8	2.0	2.7	2.7	10.3
機能化学品・化成品	3.4	3.8	3.8	4.0	4.0	19.0
未来材料	1.7	1.3	1.3	1.4	1.4	7.1
合計	6.2	6.9	7.1	8.1	8.1	36.4

※本資料記載の将来の見通しに関する事項については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

日本化成株式会社 総務人事部総務グループ TEL:03-5540-5861



第9次中期経営計画

NKC-Plan2015

(2011年～2015年 5ヵ年計画)

—高機能化による事業拡大と
被災した小名浜工場の再構築—

日本化成株式会社
取締役社長 中村英輔

平成23年11月4日



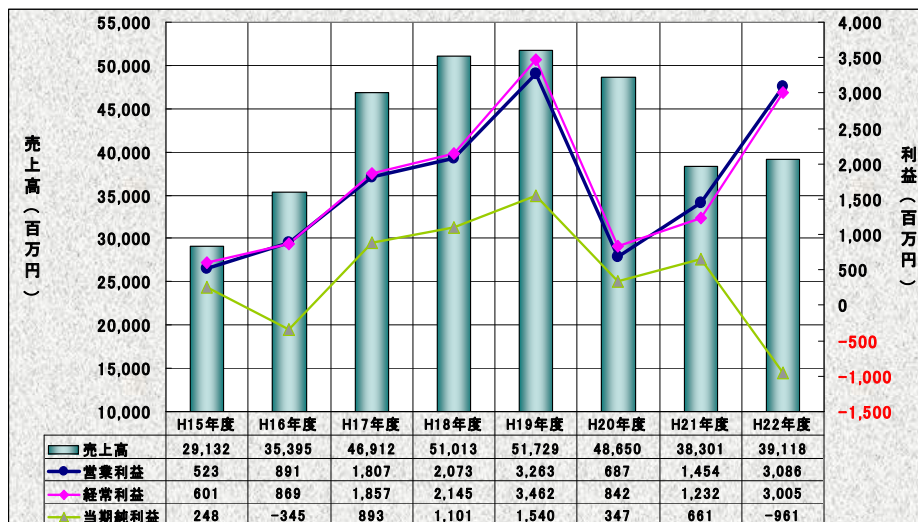
目 次

- I . NKC - Plan2010(2008年～2010年)の総括
- II . NKC - Plan2015(2011年～2015年)の概要
 - 1. 経営目標(2015年度)
 - 2. 年次別収益計画
 - 3. セグメント別戦略
 - 4. 小名浜工場の再構築
 - 5. 設備投資計画
 - 6. 研究開発費投入計画

I. NKC-Plan2010の総括

(2008年～2010年)

1. 連結業績の推移



← DS Plan21 ← NEW DS Plan21 ← NKC-Plan2010 →

2. 連結業績推移

(単位: 億円)

	2008年度 (実績)	2009年度 (実績)	2010年度 (実績)
売上高	487	383	391
営業利益	6.9	14.5	30.9
経常利益	8.4	12.3	30.1
当期純利益	3.5	6.6	▲9.6

II. NKC-Plan2015の概要

(2011年~2015年)

1. 経営目標

“高機能化による事業拡大と 被災した小名浜工場の再構築”

◇収益

・**経常利益 38億円**

(参考)売上高 445億円 ROA 8.5%

◇環境

・**地球温室効果ガスの削減**

エネルギー原単位:1990年度比20%削減

◇安全

・**保安事故、労働災害ゼロ**

・**GPS活動(リスクベースの化学物質管理)の推進**
評価結果、管理方法の公表

2. 年次別収益計画

(1) 連結 売上高・損益計画

【単位：億円】

	10年度 実績	11年度 計画	12年度 計画	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
売上高	391	375	394	413	429	445
営業利益	30.9	19.8	23.5	29.5	33.5	37.5
経常利益	30.1	20.6	24.0	30.0	34.0	38.0
純利益	▲9.6	10.6	11.6	15.3	17.7	20.1

(2) セグメント別売上高計画

【単位：億円】

		10年度 実績	11年度 計画	12年度 計画	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
単 独	無機化学品	187	158	158	165	173	178
	機能化学・化成品	105	112	119	126	134	140
関係会社、その他		99	105	117	122	122	127
合計		391	375	394	413	429	445

(3) セグメント別経常損益計画

【単位：億円】

		10年度 実績	11年度 計画	12年度 計画	13年度 計画	14年度 計画	15年度 計画
単 独	無機化学品	12.0	5.3	8.5	10.4	11.7	13.2
	機能化学・化成品	13.7	12.8	11.0	15.7	19.3	21.8
関係会社、その他		4.4	2.5	4.5	3.9	3.0	3.0
合計		30.1	20.6	24.0	30.0	34.0	38.0

3. セグメント別戦略



(1) 無機化学品セグメント 主要戦略(2011年～2015年)

- ◇合成石英粉事業の強化・拡大
 - ・最適生産体制の構築
 - ・光ファイバー市場への本格参入
- ◇アンモニア系事業の徹底した効率化と基盤強化
- ◇AdBlue(ディーゼル車脱硝用高品位尿素水)事業の拡大



(2) 機能化学品・化成品セグメント 主要戦略(2011年～2015年)

- ◇TAIC事業の拡大・強化
 - ・新規高機能グレード開発による拡販
 - ・新規用途開発
- ◇メタノール・ホルマリン事業の徹底した効率化と基盤強化
- ◇特殊機能化学品の用途開発と拡販
 - ・特殊感光剤
 - ・脂肪酸アמיד
 - ・アクリレート
- ◇EL薬品事業の徹底した効率化

(3) 未来材料 主要戦略(2011年~2015年)

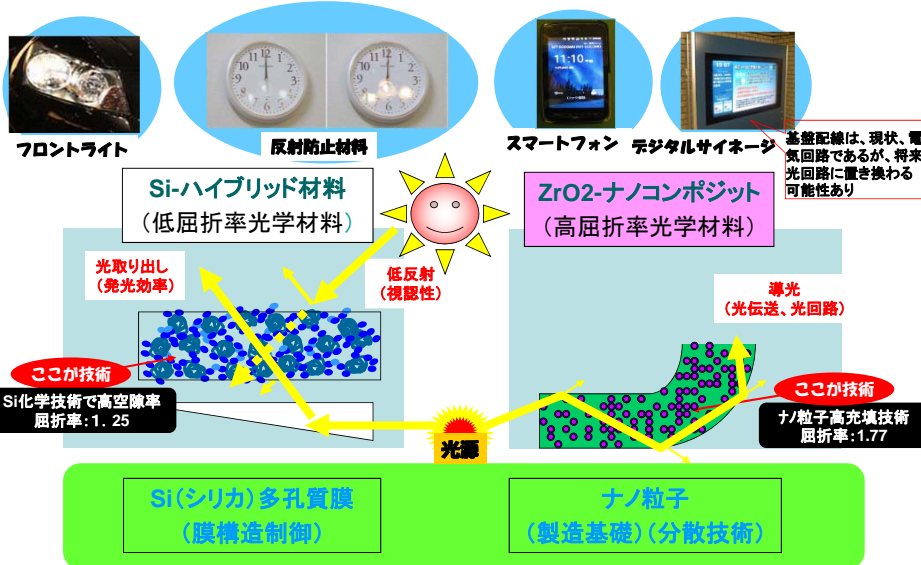
- ◇エレクトロニクス(電子)からフォトニクス(光)の時代と言われる21世紀において、新規光学材料がイノベーションを支えるキーテクノロジーとなる。
- ◇高速大容量化、高集積化、画像処理関連技術の進展と、ニーズの高まりに伴い、フォトニクス技術をベースとした光学デバイスの開発が今後ますます進んでいく。



光関連材料の技術開発と市場開拓

- ◇高屈折率材料
- ◇低屈折率材料

光関連材料



4. 小名浜工場の再構築

◇徹底した効率化・合理化

生産・物流等コスト削減

◇災害に強い工場の構築

地震・津波対策等

◇遊休土地の活用

5. 設備投資計画

【単位:億円】

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5カ年計
拡大・合理化	3.7	10.6	17.3	23.1	18.1	72.8
インフラ整備等	8.3	8.8	5.3	4.8	5.3	32.5
合計	12.0	19.4	22.6	27.9	23.4	105.3

拡大・合理化 : 新規設備設置、設備増強、省資源・省エネルギー化等

インフラ整備等 : 設備劣化更新、共通設備の設置・更新等



日本化成

Good Chemistry for Tomorrow
三井化学グループ

6. 研究開発(RD)投資計画

【単位：億円】

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5カ年計
無機化学品	1.1	1.8	2.0	2.7	2.7	10.3
機能化学・化成品	3.4	3.8	3.8	4.0	4.0	19.0
未来材料	1.7	1.3	1.3	1.4	1.4	7.1
合計	6.2	6.9	7.1	8.1	8.1	36.4



日本化成

Good Chemistry for Tomorrow
三井化学グループ

以 上